山弓連
平成12年
第4号

2000年とやま国体

少年男子近的6位遠的4位種別5位
成男も遠的5位 種別8位 入賞

「二〇〇〇年とやま国体」は、10月14〜18日富山県大島町で開会。本県からは成年男子（荒井・渡辺・中込）少年男子（渡辺、上条、羽田）の２種別が出場したが、いずれも種別入賞を果たすという大活躍をした。

◎成男遠的

・大会初日の予選で132点（荒井47・渡辺49・中込36）という高得点を出し、ダントツ一位の成績で通過。決勝が楽しみ。

・三日目の決勝トーナメント。好調持続。まず石川を44対31（荒井5・渡辺19・中込20）で軽く一蹴。これで8位以内入賞が決定。しかし次の準々決勝で調子の波の底が来た。福岡との対戦は50対38（荒井24・渡辺7、中込7）で惜敗。気を取り直して臨んだ5〜8位決定戦では奮起一番、6射26点を出して5位入賞決定。

◎成男近的

大会二日目予選。前日の遠的さながらの好調が続き、まず一回戦は、いきなり12射皆中。再びトップ通過の期待ふくらむ。が――そこでリキミが出た。思わぬ失中がつづき、終ってみると18中（荒井5・渡辺8・中込5）で落選。最も確実と期待していた種目であっただけに、残念至極。だから――弓の試合は絶対確実ということはあり得ない。

◎少男近的

予選は19中（渡辺5・上条6・羽田8）で6位通過。まずまず。決勝に向けて力をためておけばよい。トーナメント一回戦は鳥取と。張り切って11中（渡辺4・上条3・羽田4）を出したが、相手が12射皆中となって万事休す。不運というほかはない。5〜8位決定戦では4中（渡辺1、上条2、羽田1）して6位入賞。

◎少男遠的

予選112点（渡辺38・上条36・羽田38）は1位の成績。絶好調を維持してトーナメント戦に進出。一回戦は強敵静岡と対戦。これを52対47（渡辺20、上条19、羽田13）で勝ち、準決勝は鹿児島と。これに勝てば優勝も夢ではないと張り切って臨んだが、惜しくも52対45（渡辺12、上条19・羽田14）で敗れる。3位決定戦は埼玉との関東同士の争いとなったが、26対19（渡辺8・上条1、羽田10）で惜敗。4位となる。しかし、近・遠的ともに入賞は天晴れな成績。

◎表彰式

少年男子は、近的6位、遠的4位入賞により、種別総合5位入賞。成年男子も、遠的5位が生きて、種別総合8位を獲得した。結局、今回は、種目入賞3、種別入賞2と、近年にない好成績となった。

◎終って――いろいろな声

- ・お疲れさま。よくやった。オメデトウ。
- ・この経験は、喜びも口惜しさも、人生の宝になる。感謝して下さい。
- ・もっと上まで行けそう。来年が楽しみ。
- ・選手選考や強化方法など工夫が必要かも。愛媛（天皇杯一位）鳥取（同六位）などのことは注目すべき。
- ・何はともあれ――みんなゴクロウサン。

弓道競技会　近的競技会場

昇段おめでとう

六段 長田長久さん

中央審査

9月の宇都宮臨時中央審査で、みごと六段昇段を果たした。長い間（平成5年以来ずっと）指導部の事務局を担当し、仲間や後輩の研鑽、昇段を最大目標としていつも支えてきたが、今回はその努力が自身の栄冠につながった。市川町。60才

受賞おめでとう 県体育功労賞

9月16日県体育祭開会式の中で、左の四名の方が表彰を受けました。おめでとうございます。

佐野 忍さん

山弓連推薦

貴重な戦前派の一人。峡南地域の重鎮として弓道人口の拡大に貢献すると共に、連盟審査部長、強化副部長等を歴任して、山梨弓道の発展に尽力。教士六段。南部町で歯科医院開業。73才

小俣嘉助さん

都留市体協推薦

教員時代は部活動の充実に努め、地域にあっては、都留支部長などを歴任して弓道人口の拡大と後輩の指導にあたった。市体協役員としても活躍。四段ながら古来にして品格ある弓をひく。都留市在住。78才

佐野辰巳さん

南部町体協推薦

山日杯大会大連盟など各大会で度々優勝した名選手。国体選手としても活躍した。現在連盟の審査部長在任中。今も一日100本の練習を欠かさぬという正真正銘の現役弓士。教士七段。南部町井出、64才。

大村利正さん

南部町体協推薦

国体強化指導に関わること20年に及ぶ功労者。今の山梨の力の基礎を作った。若い頃は、陸上競技や剣道の名選手でもあった。郵便局を定年退職後は造園業に転進するという器用人でもある。教士六段、具小笠原流射礼の名手。身延町。63才。

ねんりんピック

9月10日（日）小瀬武道館弓道場で開催。出場者46名。年令は、ねんりんホヤホヤの60才から80才まで。それぞれ永年にわたって磨きあげた古決の技を披露しあって和気藹々の雰囲気の中で試合が行われた。

競技は昼食を挟んで四ツ矢3回計12射。若者にも劣らない高い的中率で勝負を争ったが、結局次の3名が入賞した。

一位　竹村栄寿（甲府）10中　65才
二位　塩島使二（西八）10中　63才
三位　若尾正夫（南巨）10中　61才

70才代、80才代も健斗したが、やはり一歩及ばなかった。試合そのものも楽しかったが、その合い間に、昔話や自慢話の花が咲いたのもまた楽しみな一日であった。

夫婦弓道大会

かねてから該当者の中で話し合われていた夫婦弓道大会の第一回大会が、9月20日、豊富村はシルクの里公園内にある、与一記念弓道場で開催された。

源平合戦で名高い浅利与一義成公と、その妻 板額御前は、ともに天下にその名をとどろかせた弓の名人。記念すべき第一回の会場にこの地を選んだのは、ご両人の弓の技と名にあやかりたい為。尤も、与一の墓はここにあるが、板額さんの墓は境川村にあって離ればなれになっているのが残念だが、今回の与一側での開催を機に、800年を経たご両人の縁が再び（更に）深まらんことを願う。オセッカイ心も少し。（ちなみに、11月には境川で、板額杯弓道大会が行われている。）

そんなわけで、まず与一の墓に詣でた後、競技開始。今回は11組の夫婦が参加し、夫婦二人立ちで色的得点制の競技を行い、成績は次の通り。

優勝　坂本武敏・喜代美 組
二位　小林源治、弘子 組
三位　小山田治雄、みち子 組
特別賞　上野 清子

楽しい一日であった。夫婦で弓を引いている喜びを十二分に味わった一日でもあった。尚、県内には現在20組以上の夫婦弓道家がいるという。

女子弓道大会

第15回女子弓道大会が、10月8日緑ケ丘県営弓道場で開催された。高校の部12校36名、一般23名が参加。一回目は坐射一手、二回目は、一般坐射、高校立射で四ツ矢。計6射の競技を行ったが、最初の一手については審判員による採点をも行い、技能賞の対象とした。結果は次の通り。

・高校団体の部（持ち回り優勝カップ）
一位　上野原高　13中（岡部、古家、高橋）
二位　甲府西高　12中（青柳、岩、渡辺）
二位　甲府商高　12中（米山、小林、石田）

・高校個人の部（持ち回り優勝カップ）
一位　石田美帆（甲府商高）6中
二位　高橋直美（上野原高）6中
三位　小林 恵（吉田高）5中

・一般個人の部（持ち回り優勝カップ）
一位　渡辺昌子（富士吉田）4中
二位　古屋昭子（東山梨）4中
三位　望月孝美（中巨摩）4中

・技能賞
高校の部　石田美帆（甲府商高）
一般の部　古屋昭子（東山梨）

このところ他地連では女性の進出が質量ともに目立ってきているが――山梨もそれに続きたいもの。この大会に期待するや切。

関東高校個人選抜選手権大会

9月10日、明治神宮至誠館弓道場で開催。関東各都県から男女各6名ずつが選抜されて出場し、関東の覇権を争って、激戦が展開された。試合方法は、予選で男女とも、4射3中以上通過、準決勝で4射して上位8名のみを残し（但し皆中が8人以上ある場合は全員）決勝は射詰めの勝負という、極めてきびしい戦い。山梨勢の戦いぶり次の通り。

	男							女		
予選通過者	[illegible]（[illegible]）4	[illegible]（上野原）4	渡辺英大（吉田）3	宮崎祖二（甲工）3	小野勝秀（吉田）4	[illegible]（吉田）3	予選通過者	渡辺尚子（甲西）4	大久保理恵（石和）4	[illegible]（[illegible]）3
準決	2	2	3	2	④	3	準決	2	2	④
決勝射詰					連中6		決勝射詰			連中2
順位					準優勝		順位			三位

この大会は、関東地域内での勢力地図を測るモノサシになる。そういう意味では、「まずまず」というところか。

おとがき○○○。

・「講釈師、見てきたような嘘を言い」しかし今回の国体競技は直接見ていないので、講釈師にはなれず、正確な実況描写はおあずけでした。

・全弓連より弓道誌購読状況の一覧表が届きました。山梨は前年比マイナス10。どうやら、更改時の手続きを忘れた人が多いようです。

・寒くなります。くれぐれもご自愛の程を。但し、稽古の方もくれぐれもお忘れなく。